この本，いかがですか？

母子にとっても地球にとっても優しい母乳育児のために

Midwife Amigo Planet，助産師
廣瀬真実（ひろ先輩）　　藤岡七海（梅ちゃん）

アミーゴ！　アミプラの梅ちゃんとひろ先輩です。

私たちアミプラは地球平和を願って，さまざまな助産師活動に日々取り組んでいます。そして本書は，私たちの母乳育児支援において必要不可欠な存在です。

私たちは特別な理由がない限り，母乳育児は母子や地球にとって最も優しく理にかなっていると思っています。そして母としてわが子に長期にわたり母乳育児を行う中で，そのよさをますます感じるようになりました。

私たちのように助産師であっても，自分とわが子だけで母乳育児を成功させたわけではありません。特に初めての出産時は，助産師の方々の母乳育児支援をたくさん受けてきました。その経験もあり，母乳育児を成功させるためには，助産師をはじめ多くの専門職者や家族のサポートが必要不可欠だと感じています。

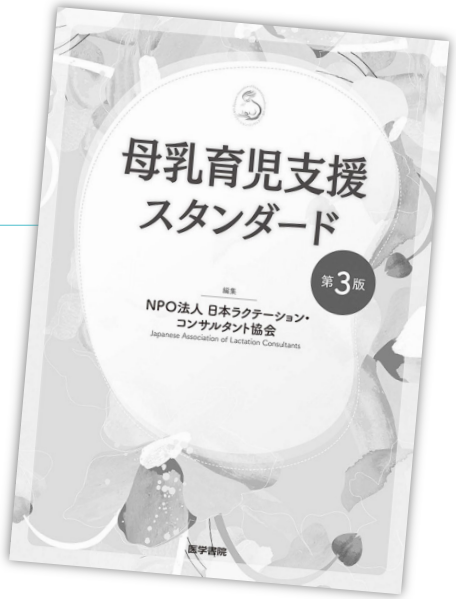
SDGs が叫ばれる現代においても，母乳育児支援は大切です。母乳育児とSDGs のつながりがイメージしにくい方はこの本を一読してほしいです。なぜ母乳育児が母子や地球環境にとってよいのか，根拠をもって書かれており，助産師として母乳育児を応援しなければいけないと改めて痛感しました。

私たちは，妊娠・出産・母乳育児だけは唯一母親にしかできない貴重な経験で，それを大切に支援され，十分味わった結果，母子の人生はより豊かになると思っています。しかし，近年は不妊治療の増加や情報過多な状況に伴い，次回の妊娠に向けて授乳方法や断乳時期を初めから決めている方や，女性の社会進出や男性の育児休業取得の増加から「誰でも」授乳できるように，また夜間は赤

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2026

2026/10/07 12:00:20

母乳育児支援スタンダード 第３版



- 編集：NPO 法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会
- 定価：5,060 円（本体 4,600 円＋税 10%）
- 判型：B5
- 頁：560
- 発行：2025 年 2 月
- ISBN：978-4-260-05704-2
- https://www.igaku-shoin.co.jp/book/detail/114707

ちゃんを寝かせたいという希望も多く，母親の本心や赤ちゃん目線ではない，大人や社会の都合で人工乳を優先した育児になりやすい現状が潜んでいます。

また，出産現場の変化から会陰や身体に傷が多く入っており，出産直後に母乳育児にまで意識が向けられなかったり，母子分離の期間があったり，分娩施設の集約化や混合病棟での入院のため母乳育児に向けて十分な支援を受けられなかった方も多くいます。母乳育児確立にとって最適な期間を逃した産後２カ月前後で「母乳育児をしたい」と訴える母親も少なくありません。そのような状況下での母乳育児支援において，私たちも困難さを感じる場面がたびたびあります。

本書には，どの時期・どの視点からでも支援しやすいように，身体的な側面だけではなく，母親への精神的な側面をはじめ，家族への支援などさまざまな側面からのアプローチ方法について，科学的根拠を踏まえて書かれています。私たちも困ったときはこの本に立ち返ることで，経験だけでなく客観的な根拠を取り入れることができ，母親にも自信を持って支援することに役立っていると感じています。

私たちの描く未来は，街中で人工乳を飲ませるように，当たり前に母乳を与える人がいて，母親の本心や赤ちゃんの目線を大切にした母子や地球にとって優しい社会です。そんな日本を取り戻していきたいと思っています。この本に書かれていることが，支援者だけでなく母親や父親，社会に浸透していくことを願っています。